

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育 I	必修選択	必須	年次	1	担当教員	中村 石渡
		授業形態	演習	総時間(単位)	30 (2)	開講区分	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
トータルビューティ科の2年間の学びが理解できる 自分自身が学ぶ目的を持てる							
【授業を通じての到達目標】							
トータルビューティ科の2年間の学びを理解し、自分自身の目標が設定できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】		【授業外における学習】					
回	授業概要					テスト配点	
1	オリエンテーション 学則について 学年暦について 授業の学び方について						
2							
3							
4						40点	
5	導入教育 クラス内役割について 清掃について 授業の持ち物・SNSマナーについて						
6							
7							
8						60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点 満点 ●評価 A評価 (90~100点) / B評価 (80~89点) / C評価 (70~79点) / D評価 (60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し 			
				評価ナフ			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 I	必修選択	必修	年次	1	担当教員	1組2組:中村/黒谷 3組:石渡	
学科・コース	トータルビューティ科共通	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するか、具体的に記載する)								
・担任が社会人経験を活かし、美容学生として自覚を持たせそれぞれの業界のプロを目指す心構えを持たせる。 ・業界のプロを目指すためにそれぞれの職種について、やりがい、職業につくための必要な努力を伝える。 ・学生1人ひとりの適性を踏まえて後期からの進路(コース)を選択できるよう導く。								
【授業を通じての到達目標】								
目標とする業界を知り、業界のプロを目指すにあたり必要なマナーや振る舞いを理解し、実践することができる。								
【使用教科書・教材・参考書】		【授業外における学習】						
マニュアル／その他毎授業時に配布。		授業によって自宅課題あり。						
回	授業概要	テスト配点						
1 (4/23)	・美容の職業を目指すにあたり具体的な目標設定をする。 入学式を振り返り、自分が学びたいことや職業を明確化する。 言葉の花束							
2 (4/30)	・美容の職業を目指すにあたり具体的な目標設定をする。 個人目標→クラス目標を設定する。 ・GWの課題について(Teams) アイスブレイク クラスルール決め							
3 (5/7)	GW課題発表＆回収(Teams) サポートアンケート実施	GW課題→小テスト5点						
4 (5/14)	・目標とする業界について学ぶ ★キャリア→業界全について:川畑先生 ※2コースを深く調べる。 →理想的の業界を考え、その業界を目指すにあたり必要な努力を理解する。							
5 (5/21)	・目標とする業界について学ぶ ※2コースを深く調べる。							
6 (5/28)	OG講話に向けて、来校するOGの企業を調べる 質問を最低3個以上記入	小テスト5点						
7 (6/4)	【中間テスト】 入学後、学んだことを振り返り目標が達成されたか確認する。 →中間テストを通して、入学後の自分を振り返り自分の成長度を確認し、コース選択の希望や次の目標を明確化できるようになる。	筆記試験 中間テスト20点						
8 (6/11)	OG講話		午前:1組2組/午後:3組4組					
9 (6/18)	OG講話の振り返り ★キャリア→川畑先生 履歴書の記入方法を学び、後期に向けての就職活動を意識する。 お辞儀の種類、方向の示し方の所作を学び学校生活の中で実践できるようになる。							
10 (6/25)	お客様体験について→アンケート実施							
11 (7/2)	後期に進むコースを決定する。 ★キャリア→川畑先生 →求人サイトの使い方 →インターンシップについて							
12 (7/9)	履歴書作成を学ぶ① 文章の書き方 自己分析 自己PR							
13 (7/16)	履歴書の書き方を学ぶ② 面接における諸対応を学ぶ (取得する資格の正式名称を確認し、履歴書に ※社会的マナーを確認し、楽しく有意義な夏休みを過ごせるように計画を立てる	夏休み課題 小スト10点						
14 (8/27)	就職活動に向けて自分のアピール方法を考える ★キャリア→川畑先生							
15 (9/3)	前期を振り返り、後期に向けての目標を設定する。	筆記試験 定期試験 60点						
【特記事項】		【評価について】						
		●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。						

科目名 (英)	ICTトレーニング	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	中村 石渡 黒谷		
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15(1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中授業		
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)									
資料のデジタル化に伴い、microsoftteamsの使い方・課題の上げ方などを学ぶ。また、美容分野のSNSの現状を理解し、自身の就職活動に活かせるようなSNSの活用法を知る。									
Teamsに関してはmicrosoftの研修を受講した講師が授業を実施する									
【授業を通じての到達目標】									
teamsでの授業受講方法が理解し、自身で課題が提出できるようになる									
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】					
回	授業概要					テスト配点			
1	オリエンテーション teamsアプリのダウンロード 登録・資料確認実施								
2									
3									
4						40点			
5	SNS(インスタグラム)の活用方法を理解する 企業側からの視点・プレゼンの活用方法・フォロワーの伸びし方を学ぶ teamsの課題に対し適切に回答する方法を知る								
6									
7									
8						60点			
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
【特記事項】				【評価について】					
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点、計100点満点 ●評価 <ul style="list-style-type: none"> A評価(90~100点) / B評価(80~89点) / C評価(70~79点) / D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失) / F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 <ul style="list-style-type: none"> 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する 					

科目名 (英)	1・2年生交流会 1 and sophomore Meet-the-people session	必修選択	必修	年次	1	担当教員	石渡・中村・黒谷
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
学科・コース	トータルピューティ科					曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 両学年の交流をすることで卒後のつながりを強化する。また2年生は1年生へ自分たちの得た知識・技術を披露することで自分たちが学んだコースの強みを理解する。1年生は2年生から施術を受けることで各コースで学べる内容を理解し、後期のコース選択のヒントを得ることができる							
【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。							
【授業を通じての到達目標】							
2年生は技能・知識を披露して1年生はコース選択の参考にすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】		【授業外における学習】					
筆記用具 スマートフォン		帰宅での調べ課題					
回	授業概要	テスト配点					
1	1・2年生交流会に向けて各コース(MA/NL)の業態について調べ、各コースの特徴をまとめることができる						
2	1・2年生交流会に向けて各コース(ES/FA)の業態について調べ、各コースの特徴をまとめることができる						
3	1~2回の授業でまとめた内容をグループでシェアすることでより深く各業態について知ることができる						
4	1~3回の内容をもとに2年生と交流するコースを選択する						
5	4回目授業で決めたコースについて質問シートをまとめ						
6	選択したコースの先輩から施術をしてもらうことで自分の希望するコース・学ぶ内容を知ることができる ①						
7	選択したコースの先輩から施術をしてもらうことで自分の希望するコース・学ぶ内容を知ることができる ②						
8	6~7回の授業で施術をしてもらった先輩へお礼状を書くことで、自分が得た知識についてアウトプットを行うことができる						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】		【評価について】					
		<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 					
		<ul style="list-style-type: none"> ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) 					
		<ul style="list-style-type: none"> ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 					

科目名 (英)	トレンド研究Ⅰ	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	中村 石渡 黒谷
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) マイク・ネイル・エステ・ファッショングそれぞれの業界の方に授業を受け、専攻選択に向けての思いを高める							
【授業を通じての到達目標】							
4業種の仕事のやりがいなどが理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】			【授業外における学習】				
回	授業概要					テスト配点	
1	オリエンテーション 企業調べ・企業理解 グループワークによる企業シェア						
2							
3							
4						40点	
5	企業授業実施 (マイク・ネイル・エステ・ファッショング) 振り返り・グループシェア						
6							
7							
8						60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】						【評価について】	
			<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90~100点) / B評価 (80~89点) / C評価 (70~79点) / D評価 (60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価 				

科目名 (英)	メイク基礎	必修選 択	必修	年次	1	担当教員	関・深井・大瀬			
		授業形 態	実習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分 曜日・時間	前期 (月)1・2限1-3 3・4限1-1 (木)1・2限1-2			
学科・コース										
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)										
20年以上メイクアップの仕事に関わってきました。複数の美容専門学校で10年以上教育にも携わっております。技術の土台となる基本的なスキンケアやメイクテクニックのみではなく、マナーなどの知識もお伝えします。JESC検定の問題作成、テキスト「Basic Makeup」の監修、ヘアメイクにも携わる。(深井) 目的:フルメイクをするためのマナーやテクニックについて理解し、時間内に基本的なメイクアップを仕上げる技術が修得できるようになる。概要:テキストに基づいてメイクをする際のポイントや注意点を覚え、相モデルでの反復練習と技術チェックで基本のフルメイク技術を学ぶ。JESCメイク検定科目でもあるが様々なメイクができるようになるためには重要な基本技術である。										
【授業を通じての到達目標】										
基本のフルメイクを30分で仕上げる技術を修得する。JESC検定合格。										
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】						
Basic Makeup										
回	授業概要				テスト配点					
1	授業内容・ルール・教材確認・メイク前準備・スキンケア手順				1					
2	テーブルセッティング・スキンケア実技・ファンデーション理論・実技				1					
3	コンシーラー・フェイスパウダー理論・実技				1					
4	ハイライト・シェイディング理論・実技				1					
5	アイブロウ理論・実技				1					
6	メイク前準備～アイブロウ実技				1					
7	中間試験				実技20点					
8	アイメイク理論・実技				2					
9	リップ理論・実技				2					
10	チーク理論・実技				2					
11	時間配分・フルメイクデモ30分・フルメイク50分タイム取り				2					
12	フルメイク40分タイム取り				2					
13	フルメイク30タイム取り・筆記模擬試験				2					
14	フルメイク30分タイム取り・検定注意事項読み合わせ				2					
15	定期試験・検定試験と同じように事前審査とフルメイクを30分で実施				実技60点					
【特記事項】				【評価について】						
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 						

科目名 (英)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小峰亮々 横木勇人			
学年・コース	授業 加算	実技	時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 1組 木曜日 12時			
【学習の目的】(実実務取扱いある教員、実用を重視する教員が、どのような指導法を採るか、具体的に記載する)									
講義12回									
この回は経験をかき出しやりやすいように研究を重ねて参りました。ネイリストとしての基本的な姿勢、所作にまでこだわって授業をお伝えしています。検定試験合格へのポイントも細かにお伝えしています。									
スパリストとして24時間、店舗、タップ成、人などにこだわりがあり、スクール活動として20年以上勤めてきました。 これから皆さん学ぶネイルの基礎知識から専門知識までを伝え検定試験3級までをサポートしていきます。									
日本ネイリスト協会の会員登録料金、会員登録料金、本願定定期が担当し、基礎となる専門技術と専門知識をお伝えします。 JNECAリスト検定試験合格が生徒にあり得る重要なポイントを学ぶ事ができる									
【授業をはじめる前に確認】									
スパリスト経験を積んだ時、大きなレベルで差している ポイントは、カラーリング、ヌードセラミック等のハンドリングを確実によって操作し、正しく安全に操作することができる カーラーは、ムラなくライン取りができる、アートはムラなくバランス良く織細に上手にこなせる									
【使用教科書・教材・参考書】									
JNAカラーカルシシステムペーパーク 記念教材 コスメ エッセンス バブルタルト秋 フレンチタルト秋 ハンドタオル ビニール袋(大)85×A4位、ノート位の大きさ) セロテープ キティペーパー(ロールタイプ)2枚1組以上 筆記用具 ハサミ メモ帳 タマー									
回	授業概要			テスト配点					
1	シラバス、コマシ読み合わせ 教材 ネイルの用具材と使用目的 p71.72 (ラベル貼り) テーブルセティング(基本のテーブルセッティング p70) 目標 勉材の名前と使用目的を覚える 基本的なテーブルセッティングを覚え実践できる								
2	学科[爪の構造と働き p16.17] 「テーブルセッティング」教材ラベル貼りの授業 エッセンスの使い方説明、セロテープ等の上に貼る [カラースタイル別ブリーフing]p8~91 動画ファイング練習(チップ) 目標 凡の名称覚え、构造と働きを検定試験までに覚える 基本的なテーブルセッティングができる 手筋の下書き等の上に貼る エリーポートの持ち方を理解し実践できる								
3	学科[爪の構造と働き p16.17] 「テーブルセッティング確認」教材ラベル貼りの授業 エッセンスの使い方説明、セロテープ等の上に貼る [カラースタイル別ブリーフing]p8~91 動画ファイング練習(チップ) 目標 先の名称覚え、构造と働きを検定試験までに覚える お書き込みの持の方たちが検定試験で エリーポートの持の方を理解し実践できる								
4	テーブルセッティング確認 ブリーフingのデモ→練習 相モデル 目標 ファイングーケーの手順を覚え実践できる			小テスト2点					
5	テーブルセッティング確認 ブリーフingのデモ→練習 ケアモードモデル 目標 正しい手筋でファイングーケーができる ブランキーとツリーの正しい角度、持ち方、動かし方、支えができる			小テスト2点					
6	テーブルセッティング確認 カラーリング デモンストレーション、動画[「ファイング練習(チップ)・カラーリング含ボリッシュ練習(チップ)] 目標 ブラシの持ち方、支えができる カラーリングのアシジのハローカーの順番とブラシの角度、ブラン庄を覚え実践できる			小テスト2点					
7	テーブルセッティング、ファイング ケア、カラーリング、アート 両手3本(右手前、人、中、左手側、人)35分 ボリッシュオフ(分) 相モデル 目標 ブラシの持ち方、支えができる カラーリングのアシジのハローカーの順番とブラシの角度、ブラン庄を覚え実践できる			小テスト2点					
8	テーブルセッティング、ファイング ケア、カラーリング、アート 両手3本(右手前、人、中、左手側、人)35分 ボリッシュオフ(分) 相モデル 目標 ブラシの持ち方、支えができる カラーリングのアシジのハローカーの順番とブラシの角度、ブラン庄を覚え実践できる			小テスト2点					
9	テーブルセッティング、ファイング ケア、カラーリング、アート 両手3本(右手前、人、中、左手側、人)35分 ボリッシュオフ(分) 相モデル 目標 時間に沿って技術ができる 検定基礎知識の項目を覚える 測定、失格を覚える			小テスト2点					
10	テーブルセッティング、ファイング ケア、カラーリング、アート 両手3本(右手前、人、中、左手側、人)35分 ボリッシュオフ(分) 相モデル 目標 時間に沿って技術ができる 検定基礎知識の項目を覚える 測定、失格を覚える			小テスト2点					
11	◆相モデルの1人目が中间テストを受ける 事前仕込み(ケア、ラウンド、カラーリング・クリーニング)ppまで[60]※カラーリングの前にお手洗いを済ませておく ボリッシュオフ、ファイング、クリーニング(ケア) アート(相モデル) 目標 時間に沿って技術ができる 測定、失格項目と検定基準が理解できている ※失格し			中間テスト20点					
12	検定対策※モデル製作可能 テーブルセッティング、ファイング ケア、カラーリング、アート(相モデル) 目標 時間に沿って技術ができる 測定、失格項目と検定基準が理解できている			小テスト2点					
13	アートアート(パート リボン) 目標 ブラシの持ち方を理解できている カラーリングのムラ無き力を支え実践できる 苦手なアートを反復練習、絶対に描ける			小テスト2点					
14	アート(レース、チェック) 目標 様々なラインを描くためのアートワークを覚え実践できる 苦手なアートを反復練習、絶対に描ける			小テスト2点					
15	アート(リボン、ハート、レース、チェック)をチップに施す 目標 バラスムムラムラ(相機)に描る			定期試験60点					
【特記事項】									
7月17日 曜日 日曜日 ネイリスト技能検定試験3級		【評価について】							
		●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100満点							
		●評価 △評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) ○評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)							
		●評価方法 評価基準については別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。							

科目名 (英)	エステ基礎	必修選択	必須	年次	1	担当教員	内藤/福岡/佐野/小野
		授業形態	実習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科					曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステティシャン、エスティック講師として25年以上関わってきました。エスティックはどんな仕事なのか、準備やご案内からマッサージ技術において一連の流れを体験しながら学んでいきます。ハンドテクニックによる足のマッサージを修得していただきますが、お客様に対する気配りなど、皆さんの今後にプラスになるような知識を含めながらお伝えします。目的:エスティシャンで必要とされる技術や接客方法を学ぶ、概要:この科目ではボディマッサージ方法を学び、マッサージ手技やマッサージ中の姿勢や体重のかけ方など具体的に専門的に学びます。接客においては、お客様側を体験することでお客様目線で接客について学ぶことができます。(内藤)							
【授業を通じての到達目標】							
ボディエスティックを通し、接客、マッサージなどのトリートメント方法を修得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
実技マニュアルプリント、ボディ実技準備一式							
回	授業概要	テスト配点					
1	ボディエスティックとは、目的と効果、事前準備について(P.50~54)						
2	ボディマッサージの基本手技について(p.66~69) 前操作、スチームタオルの作り方	小テスト 10点					
3	前操作～下肢後面マッサージ(塗布～4)、スチームタオルふき取りについて						
4	下肢後面 塗布～4までの復習と5～12まで連続して行う：中間テスト	中間テスト 20点					
5	前操作～下肢後面ボディマッサージ～12まで連続して行う						
6	うつ伏せから仰向けのご案内の仕方 下肢前面ボディマッサージ(～10)	小テスト 10点					
7	下肢前面ディープクレンジング～前面ボディマッサージ(10まで)						
8	下肢ボディマッサージ 前操作～後面～前面～拭き取り～仕上げ：定期試験	定期試験 60点					
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッショントピック	必修選択	必修	年次	1	担当教員	矢澤 勇
		授業形態	講義 実技	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 水(3・4限)金(1・2・3・4)
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するか、具体的に記載する)							
ファッショントピックの基礎知識としてアイテムの名称や、ベーシックなコーディネート、又、プレゼンテーション能力を付けていきます。							
【授業を通じての到達目標】							
ファッショントピックの基礎知識はもちろんのこと、プレゼンテーションを通してプレゼンボードの作成や、発表ができるようになり、コミュニケーション能力が付きます。							
【使用教科書・教材・参考書】		【授業外における学習】					
筆記用具、名札、ノートまたはメモ、タブレット。		特に無し					
回	授業概要					テスト配点	
1	セルフコーディネートのプレゼンテーション、シルエットとライン					5	
2	アイテムの名称					4	
3	ベーシックコーディネート①					4	
4	ベーシックコーディネート②					4	
5	テストに向けてプレゼンボード制作					25	
6	トレンド/ヒストリー①					4	
7	トレンド/ヒストリー②					4	
8	テスト					50	
【特記事項】		<p>【評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小テスト25点、中間テスト25点、定期試験50点 計100点満点 ●評価 <ul style="list-style-type: none"> A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 <p>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p> 					

科目名 (英)	美肌検定	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	内藤麻代
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30(2)	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科					曜日・時間	水曜日

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

エステティシャン、エステティック講師として25年以上関わってきました。将来、美容業に携わる皆さん自身の為に美肌の知識を深めるとともに、周りの方にもアドバイスができるようになるよう、普段の生活にも参考になるような知識をお伝えします。目的:美肌検定に合格できるための必要な知識を学ぶ、概要:この科目では肌について専門的に学びますが、食事法や運動法、お手入れな方法など幅広く学ぶことで、内外からトータル美容を学ぶ学生にとっても重要な基本的な知識である。

【授業を通じての到達目標】

美肌検定に合格する

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
美肌検定テキスト	

回	授業概要	テスト配点
1	美肌の条件、美肌度チェック、美肌維持について(P.8~13)	
2	美肌ケアの基本、運動、栄養について(P.16~24)	小テスト4点
3	皮膚の構造と働きについて(P.26~27)	
4	4つの肌タイプ、表皮のターンオーバー、真皮の構造機能について(P.28~31)	小テスト4点
5	しわ、たるみについて(P.32~33)	
6	年代別お手入れ方法、男性の肌のお手入れ方法について(P.34~38)	
7	中間テスト（筆記テスト）	中間テスト20点
8	細胞再生修復、睡眠とホルモン、女性ホルモン、お手入れについて(P.40~46)	
9	体調と肌、活性酸素とは、活性酸素の要因、紫外線について(P.48~53)	小テスト4点
10	女性ホルモンと肌、温度・湿度と肌、季節にあつたお手入れ方法について(P.54~59)	
11	クレンジングと洗顔、美肌を育む、与えるスキンケアについて(P.62~65)	小テスト4点
12	化粧品の基本の使い方と選び方、化粧品の原料と役割、自分の肌に合う化粧品の見つけ方、薬機法	
13	フェイシャルマッサージの効果、美肌維持に関する表情筋、セルフマッサージについて	小テスト4点
14	美肌を作る簡単ストレッチとボディマッサージ、ハンドネイルケアについて	
15	定期試験（美肌検定試験）	定期試験60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点

●評価

A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)
D評価(60~69点)

E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名 (英)	ネイル検定対策	必修選択	必修	年次	1	担当教員	橋本勇人 内田由香
		授業形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科					曜日・時間	1組 金曜日 3.4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するか、具体的に記載する)							
ネイリストとして24年間、店長、スタッフ育成、人事などにたずさわり、スクール講師としても20年以上勤めてきました。 この経験を生かし、これから皆さんが学ぶネイルの基礎知識から専門知識を伝え検定試験3級合格までをサポートしていきます。							
ネイル専門学校でネイルの専門知識を学びサロンワーク経て個人経営のサロンの立ち上げから講師業を経て活かし教育に関わらせて頂いています。 今後皆様には検定試験合格に向かいネイル技術に必要な基礎的知識と専門技術を修得していただき試験合格に向けて試験官経験を活かし参考になるような知識と技術をお伝えします。							
ネイリスト技能検定3級に合格する為に ネイルケア ネイルアートに関する基本的な知識を理解し、ネイルケア カラーリング ネイルアートの技術を修得する ※日本ネイリスト協会 本部認定講師 JNECネイリスト技能検定試験合格者実施							
概要: この科目ではネイリスト技能検定試験を通じて 衛生と消毒、爪の構造、爪の病気とトラブル、ネイルの技術形態、テーブルセッティング、ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な知識を理解し、 ネイルケアの安全な技術、各種カラーリング、フラットアート(イラスト)ネイルアートの技術を修得する トータルビューティーを学ぶ学生にとって基本的な技術である							
【授業を通じての到達目標】							
ネイリスト技能検定3級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルブッシヤー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができる、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムベーシック 配布教材 コットン エプロン バスタオル1枚 フェイスタオル2枚 ハンドタオル1枚 ビニール袋(大きさB5~A4位、ノート位の大きさ) セロテープ キッキンペーパー(ロールタイプ)2枚1組を6組以上 筆記用具 ハサミ メモ帳 タイマー							
回	授業概要	テスト配点					
1	シラバス、コマシラ読み合わせ 学科[ネイルの技術形態 p14.15] テーブルセッティング確認 エメリーボードの面取り ウッドスティックのカスタム(削り)2種 コットンスティック作成※大、小の其々の用途の説明 目標:ネイルの技術形態を覚える 基本的なテーブルセッティングを覚える エメリーボードの面取りを行いエメリーボードを安全に使用できる状態にする ウッドスティックをカスタマイズして使用できる状態にする コットンスティックが用途に合わせた大きさで作成できる						
2	学科[ネイルの歴史] [手指消毒p74] テーブルセッティング確認 手指消毒 ファイリング相モデル 目標:ネイルの歴史を知る 手指消毒の方法を覚え実践できる エメリーボードの持ち方、支えを覚え実践できる						
3	学科[爪や皮膚の病気とトラブル p30~36] テーブルセッティング確認 ブッシヤー復習 デモ→練習 ニッパーの使用方法 動画→相モデル 目標:爪や皮膚の病気とトラブルを知り、職能範囲を見極められるようになる お客様の手の持ち方とちから加減を覚える ニッパーの用途、持ち方、動かし方、角度を覚える						
4	テーブルセッティング確認 ファイリング～ケアのデモ→練習 相モデル 目標:ファイリング～ケアの手順を覚える	小テスト2点					
5	テーブルセッティング確認 ファイリング確認 ケアデモ→練習 相モデル 目標:正しい手順でファイリング～ケアが行える ブッシヤーとニッパーの正しい角度、持ち方、動かし方、支えができる	小テスト2点					
6	要項説明 フラットアート(イラスト 花) 動画[・チップの組み立て～カラーリング(1'39")] ハイビスカスのバランス(3'07")・ハイビスカスの描き方(25'38") バラの描き方(1'06")] ガーベラ 描き方デモ→練習 目標:バランス、描き方を覚える	小テスト2点					
7	テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本(右手親、人、中 左手親、人)35分 ポリッシュオフ (5分) 相モデル 目標:自爪のサイズに合わせてアートが描ける	小テスト2点					

8	<p>テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本(右手親、人、中 左手親、人)35分 ボリッシュオフ (5分) 相モデル 採点基準表配布</p> <p>目標:時間内に施術ができる 採点基準表の項目を覚える 減点、失格を覚える</p>	小テスト2点
9	<p>テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本(右手親、人、中 左手親、人)35分 ボリッシュオフ (5分) 相モデル 採点基準表配布</p> <p>目標:時間内に施術ができる 採点基準表の項目を覚える 減点、失格を覚える</p>	小テスト2点
10	<p>テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本(右手親、人、中 左手親、人)35分 ボリッシュオフ (5分) 相モデル 採点基準表配布</p> <p>目標:時間内に施術ができる 採点基準表の項目を覚える 減点、失格を覚える</p>	小テスト2点
11	<p>◆相モデルの2人目が中間テストを受ける 事前仕込み(ケア、ラウンド、カラーリングトップまで【60'】※カラーリングの前にお手洗いを済ませておく ボリッシュオフ、ファイリング、クリーンナップ(ケア) アート カラーリング 【両手60分】</p> <p>目標:時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解でき実践できる ※休憩なし</p>	中間テスト20点
12	<p>ネイリスト技能検定試験 検定対策 仕込み ※モデル同伴 目標:時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解でき実践できる</p>	小テスト2点
13	<p>ケア カラーリング (ピンク ナチュラルスキンカラー) ※ネイル検定2級の内容 目標:ピンク ナチュラルスキンカラーのブラシワークを覚える ムラなく塗布できる</p>	小テスト2点
14	<p>ケア カラーリング (ホワイトパール) ※ネイル検定2級の内容 目標:ホワイトパールのブラシワークを覚える ムラなく塗布できる</p>	小テスト2点
15	<p>定期試験 ファイリング(長さと形を合わせる) ケア カラーリング ピンク 目標:キューティクルからフリーエッジの長さを合わせることができる ピンクのブラシワークを理解しムラなく塗布できる</p>	定期試験60点
【特記事項】	7月17日 日曜日 ネイリスト技能検定試験3級	<p>【評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名 (英)	選択ヘアアレンジ Hair make	年次	1	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	講義・演習			
		時間数	60			
学科・コース	トータルビューティー科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日 3・4限
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショーなど大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	セルフヘアスタイリングを目的としヘアスタイル・ヘアセットの技術・知識を身につける。					
到達目標	カールアイロン使用しスタイリングができる。ハーフアップスタイルができる。アップスタイルができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	ヘアアレンジ検定テキスト	事前事後 学習と その内容				
教材	ヘア道具一式		実技授業の場合、授業前にヘアセッティングをしてください。終了後は全員で消毒と清掃を行います。			
特記事項						

授業計画

回数	授業テーマ	授業内容
1	道具の名称・頭部の名称・ブロッキング・編みパターン	各名称を覚える・表編み、裏編み、ロープ網、フィッシュボーンを習得する
2	アイロンテクニック①	カールアイロン MIX巻を習得する
3	アイロンテクニック②	巻き方パターン、ツイスト巻きを習得する
4	ピニング・ホットカラー・テクニック①	ピニング・ホットカラーレを習得する
5	編み込み表・裏・レース編み	表編み込み・裏編み込み・レース編み・ロープ編み込みを習得する
6	中間試験対策 ハーフアップ①	ハーフアップスタイルを習得する
7	中間試験	ハーフアップスタイルをチェック
8	ハーフアップ②	くるりんぱ・ロープ編み込みハーフアップを習得する
9	アップスタイル①	ポニーテールパターンを習得する
10	アップスタイル②	シニヨンパターンを習得する
11	編み込みアレンジ	編み込みアレンジスタイルを習得する
12	抱き合わせ	抱き合わせスタイルを習得する
13	夜会	夜会を覚える
14	期末試験対策 アップスタイル	アップスタイルを習得する
15	期末試験	アップスタイルをチェック

科目名 (英) 選択必修メイクアップ	必修 選択必修	学年：1年次	担当教員：笠原・秋本
学科・コース トータルビューティ科	授業形態 実技形態	総時間（単位） 60 (4)	開講区分 火曜
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）			
ヘアメイクとして広告、TV、CM、バックステージ、ブライダル、化粧品ブランドアーティストとして活動する講師から			
1年生のうちに必要とする、メイクの基礎技術を学ぶ。			
【授業を通じての到達目標】			
骨格、色彩を学び、デザイン力を身に付けてメイクの完成度を高める。			
【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】		
回	授業概要	テスト配点	
1	ファンデーションの種類を学び、仕上がりに合った選び方を身につける		
2	アイブロウの整え方、形の種類、描き方を身につける		
3	イエローベース、ブルーベースの違いを理解出来るようになる		
4	パーソナルカラーとは？スプリング、サマー、オータム、ウィンターの違いを理解する	10点	
5	フェミニンメイクが出来るようになる。		
6	パステルカラー、くすみパステルを使ったメイクが出来るようになる。		
7	中間テスト	20点	
8	アースカラーを使ったメイクが出来るようになる		
9	コントラストの強いメイクが出来るようになる		
10	骨格修正メイクが出来るようになる（黄金比、遠心、求心、子供顔、大人顔）		
11	ベースメイクとコントゥアリングメイクが出来るようになる		
12	クリースメイクが出来るようになる		
13	スマーキーアイ & ブロウリフトメイクが出来るようになる		
14	ブラウン&ブラックグラデーションメイク	10点	
15	定期テスト（登校）	60点	
【特記事項】		<p>【評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 • 評価 <p>A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点） D評価（60～69点）</p> <p>E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）</p> • 評価方法 	

科目名 (英)	選択ファッション	必修選択 授業形態	必修 講義 演習	年次	1 60 4	担当教員 開講区分 曜日・時間	緑川 有香 前期 毎週火曜日 1限2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するか、具体的に記載する)							

販売員から販売営業マネジメントの経験を経た講師からファッションやスタイリングの基礎知識の習得及び、ファッション業界の流れについて学ぶことが出来る。
ここでは、ファッション業界において必要な基礎知識やマーケットリサーチを中心に学ぶ。

【授業を通じての到達目標】

- ・基本的なファッションの知識を習得し、スタイリングに活かすことが出来るようになる。
- ・リサーチ力を高め、常にトレンド意識を持つことでファッション業界に携わるものとして必要なマインドを身につけることが出来る。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
授業内容により資料を配布	・ショッップリサーチ

回	授業概要	テスト配点
1	【ファッションの流れ】 ⇒ファッションやトレンドの情報について考える。(SNS、雑誌、広告などを調べ考察する)	
2	【トレンドカラージュ作成】 ⇒各自調べたトレンドキーワードを用いたカラージュ作成を行う。(カラージュ提出)	5
3	【シーズン/カラー/素材/柄】 ⇒シーズンによるファッションの変化と区分け、色や素材が与える印象について学ぶ。	
4	【アイテム/デザイン/ディテール】 ⇒アイテムのデザインやディテールについての基礎知識を学ぶ。	
5	【基本スタイリング】 ⇒様々なアイテムを使用したオーバルコードを意識したスタイリングの実践的な着せ替えを行う。	
6	【中間テスト/校外リサーチ】 ⇒中間:ファッションにおける基礎知識/原宿エアリーリサーチ(翌週までにレポート提出)	20+5
7	【職種/ブランド】 ⇒アパレル業界における職種について知る。ブランドや企業リサーチを行う。	
8	【ブランドリサーチ】 ⇒ファッション企業及びブランドリサーチを行う。(レポート提出)	5
9	【世代別スタイリング】 ⇒同世代だけではなく、様々な年齢層に応じたコーデ組を行う。年齢別のスタイリングについて考える。	
10	【購買心理/接客用語】 ⇒消費者の購買心理を学び、購買心理に沿った接客を心得る。また、接客の導入からお見送りまでの一連において場面別に必要な用語を習得する。	
11	【リサーチ】 ⇒実店舗にて接客を受け、購買心理及び接客7大用語を体感する(翌週までにレポート提出)	5
12	【TPO別スタイリング】 ⇒TPOに合わせたスタイリングの理解を深めるための実践を行う。	
13	【ブランドマトリックス】 ⇒ファストファッション・ラグジュアリーブランド・セレクトショップの違いについて学ぶ。	
14	【カラージュ作成】 ⇒自らが考案する店舗展開を意識したカラージュ作成を行う。	
15	【期末テスト】 ⇒試験内容:カラージュ発表	60

【特記事項】	【評価について】
	<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 <ul style="list-style-type: none"> A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 <ul style="list-style-type: none"> 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名 (英)	選択エステ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小池 千絵
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するか、具体的に記載する) 国内外のエスティックの資格を保有し、複数の都内専門学校にてエスティックの授業を受け持つ講師がエスティック基礎で習得した技術をもとに各部位のボディマッサージを習得する							
【授業を通じての到達目標】							
身体の各部位の特性を理解し効果を実感してもらえるマッサージを行う							
【使用教科書・教材・参考書】		【授業外における学習】					
プリント(補助教材)		身近な方へ授業で習得したマッサージを行う					
回	授業概要				テスト配点		
1	【施術前の準備】エスティックの振る舞い方を知りお客様への接客を学ぶ						
2	【背中のマッサージ】マニュアルを見ながら背中のマッサージができるようになる				2点		
3	【背中のマッサージ】背中のマッサージを正確にできるようになる				2点		
4	【腹部のマッサージ】腹部のマッサージを正確にできるようになる				2点		
5	【背中・腹部のマッサージ】背中、腹部のマッサージを連続してできるようになる						
6	【背中・腹部のマッサージ】ご案内からアフターカウンセリングまでをスムーズに行う						
7	【中間試験】ご案内～背中～腹部～アフターカウンセリングの流れをスムーズに行う				20点		
8	【背中・腹部のマッサージ・パック】背中のパック技術を習得する						
9	【背中・腹部のマッサージ・パック】時間内にマッサージとパックを用いたトリートメントができる						
10	【背中・腹部のスクラブ・マッサージ・パック】スペシャルトリートメントの効果を実感する				2点		
11	【腕のマッサージ】腕のマッサージができるようになる						
12	【上半身のマッサージ】背中～腹部～腕のマッサージをスムーズにできるようになる						
13	これまで学習してきたトリートメントを基にお客様へのお悩みに合わせたメニューの組み立てができる				2点		
14	これまで学習してきたトリートメントを基にお客様へのお悩みに合わせたメニューの組み立てができる						
15	【定期試験】時間内にお客様のお悩みに合わせたメニューの組み立てを行い施術する				60点		
【特記事項】相モデルで毎回授業を実施します				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			